

埼玉県健康生きがいつくりアドバイザーの集いフォトレポート

埼玉県健康生きがいつくりアドバイザーの集いが、下記の要領で6月11日に開催されました。埼玉県の3協議会(生きがい彩の会、川口市健康生きがいつくりアドバイザー協議会、NPO法人ときめきライフ埼玉)の世話人により数回の打合せを経て開催に至りました。

その概要をフォトレポートの形でまとめました。

なお、詳細は、7月20日発行の季刊いきがい131号でご報告いたします。

記

1.日 時：平成28年6月11日(土) 午後2時～5時

2.会 場：さいたま市

「浦和コミュニティセンター」10階13会議室

3.参加者：65名(事務局含む) 開催案内:342名に郵送

(生きがい彩の会:25名、NPO法人ときめきライフ埼玉:9名、川口市健康生きがいつくり協議会:15名、県内アドバイザー:9名、財団・拡大推進会議委員:7名)

4.開催概要

開会の辞:健康・生きがい開発財団 事務局長 藤村宣之(総合司会)

挨拶 :健康・生きがい開発財団 常務理事 大谷源一

「これからの財団・100歳大学・フレイル予防」

第1部 :講演「人生100年の時代をどう生きるか～100歳大学の試み～」

講師:國松善次氏 健康生きがいつくりアドバイザー

(一般社団法人健康・福祉総研理事長・元滋賀県知事)

(休憩 15分間……第2部開始 15時45分)

第2部 :情報交換セッション

①財団のアドバイザー拡大推進会議の取組について

AD拡大推進会議

議長 境 幹 夫氏

②埼玉県下の3協議会活動事例紹介

・生きがい彩の会

会 長 伊藤信男氏

・NPO法人ときめきライフ埼玉

理事長 磯 竹栄氏

・川口市健康生きがいつくりアドバイザー協議会

会 長 中尾 堯氏

③交流セッション(自己紹介、名刺交換等)

AD拡大推進会議 企画部長 松浦隆志(司会進行)

閉会の辞: 生きがい彩の会

顧 問 荒木利治氏



埼玉県ADの集い会場

開会の辞:健康・生きがい開発財団
事務局長 藤村宣之(総合司会)



挨拶 :健康・生きがい開発財団 常務理事 大谷源一
「これからの財団・100歳大学・フレイル予防」



第 1 部 : 講演「人生 100 年の時代をどう生きるか～100 歳大学の試み～」
講師:國松善次氏 健康生きがいづくりアドバイザー
(一般社団法人健康・福祉総研理事長・元滋賀県知事)



國松善次講師の講演を熱心に聴くADの集い参加者



大阪府庁職員時代に福祉担当の職場で日本における高齢化の進展が世界のどの国よりも早く、超高齢社会(異常高齢社会)の訪れを悟ったと語る國松講師。

現在、自転車で琵琶湖一周や海外まで出かけたり、東京マラソンやホノルルマラソン(フルマラソン)にチャレンジするなどが紹介されました。



* 人生 100 歳時代の到来:100 歳大学の提唱



なぜ 100 歳大学？ 日本の現状を振り返ってみれば、1963 年 100 歳は 153 名、2015 年 6100 名(内女性:90%を占める=その内80%が認知症)であり、100 歳以上の人口が急激に増加している。日本の長寿社会は「異常高齢社会」世界 1 の長寿は、世界初の「超高齢社会」、超長期の老後」、1 人暮らしや老々介護で「無縁社会」の老いを生きるという現実である。

老いの道は、PPK (ピン・ピン・コロリ)と NNK (認知症・寝たきり・孤独死)の二通りがある。NNK の原因は、その多くは生活習慣病である。健康づくりには、福祉施策に頼らず、自助努力が必要であり、余生には教科書もない、先生がいない。健康長寿こそ「老いの教育」、「人生下山の教育」、第二の義務教育が必要である。ここに 100 歳大学を提唱した理由。



第 2 部：情報交換セッション

①財団のアドバイザー拡大推進会議の取組について

AD 拡大推進会議 議長 境 幹 夫 氏

全国6つのブロックに分けて、「アドバイザーの集い」開催を展開中。

*アドバイザー養成講座の開講計画

神奈川(4月)、東京多摩(5月)、品川(8月)、
埼玉川口(9月)、埼玉所沢(10月)、
千葉(11月)、世田谷・文京(29年2月)

②埼玉県下の3協議会活動事例紹介

埼玉県下の生きがい彩の会伊藤会長、NPO 法人ときめきライフ埼玉磯理事長、川口市健康生きがいづくりアドバイザー協議会中尾会長から各協議会の独自作成資料を用いて活動事例の紹介がありました。

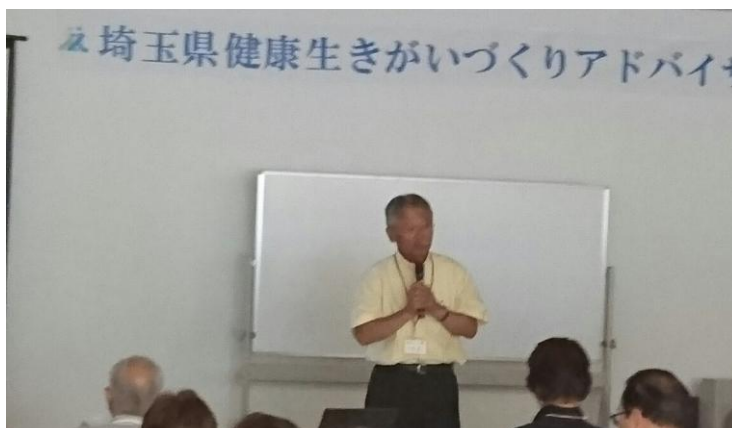
・生きがい彩の会 会長 伊藤信男氏



・NPO 法人ときめきライフ埼玉 理事長 磯 竹栄氏



・川口市健康生きがいつくりアドバイザー協議会 会長 中尾 堯氏



③交流セッション(自己紹介、名刺交換等)

AD拡大推進会議 企画部長 松浦隆志(司会進行)

交流セッションは、時間切れのため、懇親会に持ち越されました。



閉会の辞: 生きがい彩の会 顧問 荒木利治氏



2016年6月11日(土)
撮影・編集構成
大熊謙治